

令和5年度「やまがた魅力ある職場づくり協議会」

荘内銀行の取組み状況について

荘内銀行 人事総務室

本店



■ 本店所在地：山形県鶴岡市

■ 創 業：明治11年12月1日

■ 資 本 金：85億円

■ 預 金 残 高：1兆3,537億円

本店ホール



■ 貸出金残高：9,482億円

(2023年3月末)

■ 店 舗 数：38店舗(県内31/県外6/ネットバンク1)
(地域別：庄内14, 最上3, 村山12, 置賜2)

(2023年4月現在)

働き方について

「プラチナくるみん」認定

次世代育成支援対策推進法に基づく特例認定企業として、2019年に「プラチナくるみん認定」を受けました。



主な取り組み内容

「仕事と育児等の両立支援ガイドブック」の配付

育休対象者向けに、仕事と育児の両立支援ガイドブック「ママ編・パパ編」、更には、上司同僚編を作成し配布しています。実際に育児休業の取得を後押しした上司のコメントを行内報で紹介するなど、積極的な働きかけを行っています。



就業支援プログラム「Mama CommuniTea（ママコミュニティ）」

育児休業から職場復帰するママ行員を対象とした相談会。行内情報の共有、個人面談、保育士による育児相談、保健師によるママの健康相談などを実施しています。職場復帰に対する不安を解消するとともに、同じ環境下のママ行員同士の情報交換・情報発信の場を設けることで、育児・仕事の両面で相談し合えるコミュニティを形成していきます。



企業内保育施設「キッズワールドあゆみ」

山形県内の金融機関として初めて企業内保育施設「キッズワールドあゆみ」を開設いたしました。鶴岡市にある本店ビル 1 階に併設しており、子どもと一緒に出勤したり、仕事終わりにお迎えに来たりするパパ・ママ行員がたくさんいます。仕事と子育てを両立する行員を応援しています。



「男性育休100%企業宣言」への賛同

従業員の多様なキャリア形成や仕事と家庭の両立を一層支援するべく、株式会社ワーク・ライフバランス（代表取締役：小室 淑恵）主催の「男性育休100%宣言」に賛同表明いたしました。



【育児休業取得者数】

年度	男性	女性	合計
2020年度	21人	22人	43人
2021年度	22人	24人	46人
2022年度	26人	16人	42人

【育児休業取得率】

年度	男性	女性
2020年度	100%	100%
2021年度	100%	100%
2022年度	100%	100%

■ 東北初！最上位「えるぼし」認定

女性のキャリア形成や管理職登用の実績につながり社会的に高く評価され、2016年に女性活躍推進法に基づく最上位の「えるぼし」認定を東北で初めて取得いたしました。



主な取り組み内容

■ 女性ステップアップセミナー（女性融資基礎習得研修）

女性が少なかった融資グループへの積極的な配置を行うとともに、法人融資力強化に向けた女性行員対象のセミナーを実施し教育を実施しています。

■ 女性キャリアアップセミナー

今後のキャリアを考えるうえで、これまでの自分を振り返り、大事にしたい価値観、興味・関心事・仕事を通してのやりがいなど、自分のモチベーションの源泉となる志向性（興味・関心）について探求する研修を行っています。

【女性管理職比率】

NO	基準日：2023年3月31日	女性比率
1	管理職に占める女性労働者の割合	27.4%※
2	係長級にある者に占める女性労働者の割合（代理層）	63.5%

（東北地銀平均15.6%※）

【労働者の男女の賃金の差異】

全労働者	うち 正規雇用労働者	うちパート・ 有期労働者
65.2%	78.1%	89.4%

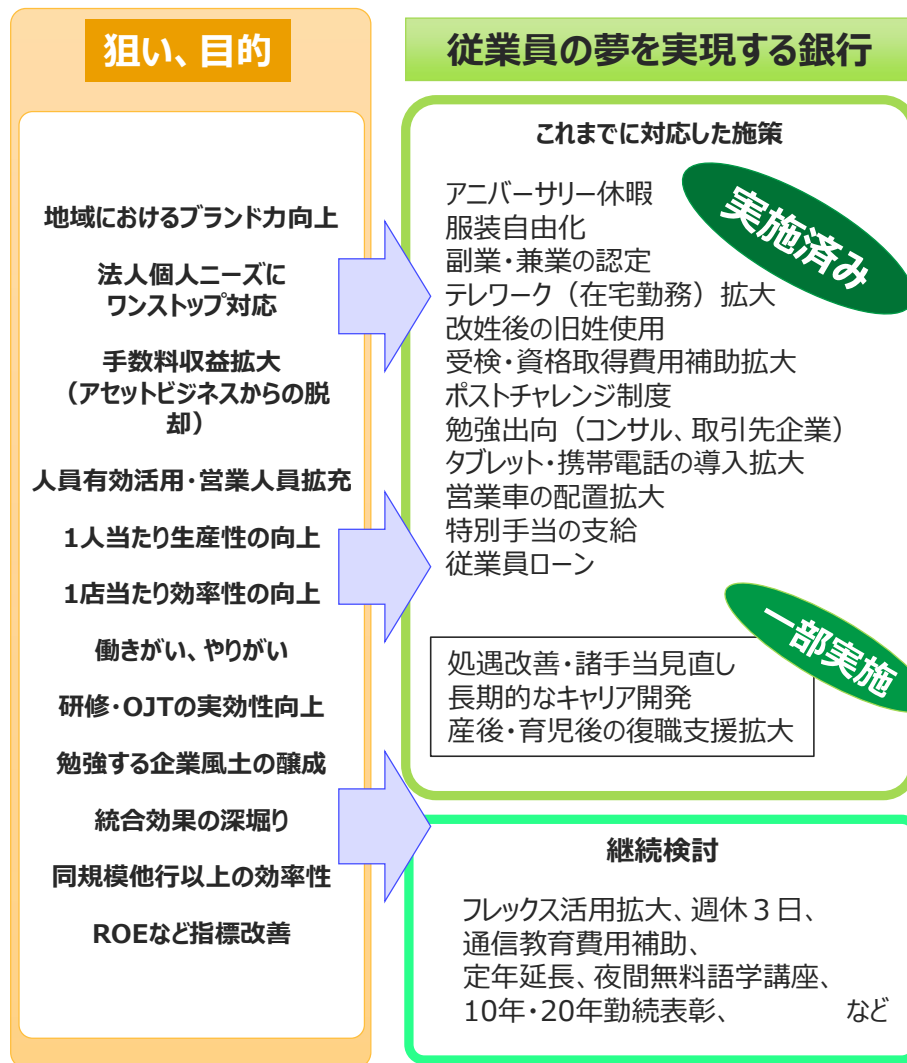
基準日：2023年3月31日

夢の銀行 Dream Bank づくりプロジェクト
 フィデアグループでは「働きがいのある職場づくり、従業員が能力を最大限に発揮できる魅力ある職場づくり」を実現するため、「夢の銀行 Dream Bank プロジェクト」を立ち上げ、「ワーク・ライフ・バランスに秀でた特色ある銀行づくり」に取り組んでいます。一人ひとりのモチベーションと自由な発想を促す環境を整えることで、「ES（従業員満足度）の追求を起点としたCS（お客さま満足度）の向上」を目指しています。

1on1ミーティングの実施

上司と部下の1対1の対話の機会を設けるため、1on1ミーティングを実施。業務のフィードバックとは別に、部下が主役となり、普段はなかなか話せないような日頃の「もやもや」を解消する場としています。

【夢銀プロジェクト概要】



東北に誇りを持つ。東北で暮らすことが憧れになる。
そんな未来を、一人ひとりのアイデアとアクションで
生み出していきます。広げていきます。

東北に根差して、東北の人たちと育む新しい価値を
人々へ、世の中へ。

もう、何気なく夢見るだけでは、つくりたい未来には届かない。
大切なのは行動すること。
地域のいちばんのファンとして、サポーターとして、
いつだって同じ目線に立ちながら。
ときには金融機関らしくない、思い切ったチャレンジも取り入れて。

一人ひとりが、考えます。動きます。
世界のどこよりも幸せと希望が実る、
東北の未来のために、いま。

